

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日
慶祝夜間例会（観楓会）
- 次週予定
ロータリー財団月間にちなんで
（財団委員会担当）

会員誕生日	
10月31日	中出 敏彦
11月4日	燕 美雪
配偶者誕生日	
10月31日	大嶋 裕子
11月1日	明澤 裕子
11月6日	深瀬 幸子

結婚記念日	
10月31日	田中 公一
11月6日	原谷修次郎
特別慶祝	
[出席100%40年]	渡部 英次
[米寿]	石川健治名誉会員
[古稀] 9月14日	清水 陞
[還暦] 10月31日	中出 敏彦

No. 2533

第17回 10月31日

出席報告

前例会

会員総数	43名
出免会員	10名
出免出席	7名
基準会員出席	21名
出席率	84.84%

前々会

第14回	10月10日
欠席会員	12名
内メイクアップ	5名
修正出席率	84.61%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

1. 10月13日、新ひだか町にて開催された地区大会に参加された会員の皆様、大変ご苦労様でした。大会にて100%出席の表彰があり、渡部会員が40年間出席100%の表彰を壇上にてガバナーより受けられました。大変おめでとうございます。またその他の方で、3名が出席表彰を受けられておりますので、ここで発表し表彰いたします。

出席30年表彰、佐藤潔会員。出席20年表彰、対馬健一会員。10年表彰、森幹雄会員です。おめでとうございます。



幹事報告

- ・細川ガバナー、地区大会実行委員長、静内RC会長連名にて地区大会参加の礼状を頂きました。
- ・赤平RCより11月例会案内を受領致しました。

委員会報告

親睦活動委員会 行徳委員長
次週10月31日「観楓会」例会のご案内です。
内容は夜間例会ですが、観楓会と題して3名の慶祝夜間例会となります。多数のご参加をお願いします。

3分間情報

会員研修委員会 高田副委員長

『ロータリーの友』2002年12月号掲載

その後の国際ロータリー(R I)理事会の決定に伴う変更により修正/特別週間を付記

ロータリーの特別月間

(Special Months in Rotary)

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(R I)理事会が指定した月間のことです。

8月 会員増強および拡大月間

(Membership and Extension Month)

会員増強には、内部拡大、外部拡大の2つがあります。内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。

外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。

この活動は、地区においてはガバナーと、スポンサークラブの協力で行われ、無地区地域では、国際ロータリー理事会のもとで遂行されます。クラブの拡大は、会員数増加の牽引車(けんいんしゃ)的役割を担っています。

9月 新世代のための月間

(New Generations Month)

1996-97年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。

クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

10月 職業奉仕月間

(Vocational Service Month)

R I理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。

クラブに推奨される具体的活動には、①地区レベルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、④空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、があります。

10月 米山月間(Yoneyama Month)

日本独自の強調月間です。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をします。そのために米山記念奨学生や地区役員・委員の卓話を聞いたり、さらに奨学生から提供される資料を基にクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されています。奨学会の目的及び事業・寄付及び表彰制度・奨学生の資格などは米山記念奨学会ホームページを参照ください。

ニコニコBOX

- 地区大会参加大変ありがとうございます
山本会長
- 100%出席10年表彰いただきました ありがとうございます
森(幹)幹事
- 40年永年出席100%会員表彰を地区大会にて受けました また田中先生よりDVD頂きました ありがとうございます
渡部会員
- 地区大会出張と重なり出席できず申し訳ございません
対馬会員
- 9月開催の第1回目のカラオケ愛好会に山本会長より多額のご祝儀をいただきました 地区大会のDVDを頂きました 地区大会に長谷川会員の高級車に乗せて頂きました
中川会員
- おかげさまで例会出席100% 30年表彰を頂きました ありがとうございます
佐藤(潔)会員

- 地区大会欠席しましたが、DVDを見て満喫します
原田会員
- 田中先生よりDVDをいただきました
原谷会員
- 地区大会に参加された皆様ご苦労様でした
鵜城会員

前 回	256,000円
今 回	35,000円
累 計	291,000円

プログラム……………

「地区大会参加報告」

高橋 理佳 会員

参加報告としては異例かもしれませんが、今回は開催場所が遠いこともあり参加できなかった方もいらっしゃるのでは、地区大会前後の状況を交えて画像でご紹介させていただきます。写真提供していただいた、田中会員、燕会員にお礼申し上げます。



大会前日10月13日は、お昼過ぎに沿岸バスさんのサロンバスで乗り遅れる方もなく定時前に留萌の地を離れました。出発頃は雨が降ってきて先行きを不安にさせるお天気でしたが、車内は和やかに楽しく長旅を過ごさせていただきました。

初仕事の森(俊)副会長の絶妙な進行の元、車内例会も無事に終わり、その頃、バス移動組より一足先に出発していたゴルフ愛好会のみなさんは、コースデビューの燕会員を加え楽しんでいたようです。

新冠町ホテルヒルズに到着後、一息ついた頃懇親会が始まりましたが、ゴルフ愛好会のみなさんはすでに到着され、反省会の真っ只中でした。懇親会ではみなさん疲れも見せず、楽しく杯を交わしているところに、清水ガバナー補佐、山本会長、森(幹)幹事がやっと到着されました

が、部屋に入ってきたときのお三方の笑顔を見ると、どれほど緊張の中での会議をされてきたのかが伺えるほどでした。

ゴルフ愛好会の表彰式も終わり、みなさん静内の遊技場視察、飲食店視察、娯楽施設の視察とエネルギーに活動され、麻雀愛好会は親交を幾重にも深くされたようでした。

大会当日は、さわやかに晴れ渡り、一足先に会場入りした西谷(英)会員は地区ブースのお手伝いをされていました。

厳かな中、大会が開会され洪RI会長代理の流暢な日本語には驚かされました。

クラブ紹介も終盤にかかったころ、細川ガバナーが壇上で倒れ救急車で搬送される場面があり、早めの昼食は会場横のグラウンドで野球を観戦しながら心を落ち着かせました。

午後からは、直前ガバナーの熊澤パストガバナーが代行され大会自体はことなく進行されました。

基調講演の金美鈴さんの「凜とした日本人」を聞いて「凜」と言う言葉の奥の深さを考えさせられました。今後意識していかなければならない言葉の一つだと思います。

例会40年間100%出席で渡部会員が代表で受け取られ、渡部会員も本当に素敵な笑顔で受け取られておられました。この時、司会の方が「わたなべ」と読み上げたのに森幹事が走りよって訂正をする場面もありましたが、お名前の読み方については我々も十分に気を付けなければいけません。

懇親会は場所を移し、馬券売り場とセリ市場などが併設されている多目的ホールで行われました。この時、細川ガバナーも元気な姿をお見せになり、会場内は安堵と拍手で満たされました。

本来、乾杯の後に食事をするようにとの紙がおいてありましたが、帰りを急ぐ留萌クラブは早めに手をつけてしまい、ホストクラブのみなさんには大変失礼をしてしまいました。

帰りはかなり強い雨が降っていましたが、バスの中では快適に過ごさせていただきました。何度か立ち寄ったトイレタイムでは、鵜城会員を何度

第16回 10月24日(水) 天候/雨

も置き去る事件もありましたが、全員無事に留萌の地に戻ることが出来ました。

みなさん、本当にお疲れ様でした。

鵜城 善輝 会員

先週の14日に、静内において開催されました、国際ロータリークラブ、第2510地区2012-2013年度、地区大会に参加して参りました。



今年の4月に入会した私にとりましては、初めての地区大会への参加ということで、大きな期待と多少の不安を抱いての参加となりました。

地区大会の開催地・静内は、数年前に夫婦共通の友人が転勤した折に「桜が綺麗だから見に来たら」との誘いを受けて、20間道路の「桜祭り」の期間中に行った事があります。

その時には、友達夫婦といっしょに、桜並木を堪能したり、乗馬体験をしたりと、とても楽しい思い出がありましたので、この度も観光の時間があるのかと期待しておりましたが、予定表の何処を探してもその様な記載が無く、少し残念な気持ちもありました。

出発の当日、バス利用者が十数名という事で、てっきり小型のバスかと思ひ込んでおりましたら、大型のサロンバスが用意されておりました。

サロンバスに乗るのは初めての体験でしたので、いの一番に乗り込みたい気持ちが膨らんでいたのですが、そこは新参者はやる気持ちを抑え、しばらくは前の席でジッとしておりました。

しかし、最初のトイレタイムの時に「このタイミングだ」とばかりに、後部座席のサロン席へと侵入して行ったという次第でございます。

それからは、ゆったり気分で、サロン席の皆さんとお喋りしたり、笑ったり、もちろんビールを飲んだりと楽しい時間を過ごしておりましたら、ふと気が付いた時には、宿泊地の新冠町に着いておりました。

その後、新冠温泉の夕陽に染まった露天風呂に浸かり、宴会場で豪華な食事をした後に「静内の街に繰り出すぞ」という事になり、私もご多分に洩れずその一員になった訳でございます。

最初に行った店は、行徳さんのご親戚の紹介の「かずき」という、とても雰囲気の良いスナックでした。

ママさんから頂いた名刺の裏は、サラブレットのあそこがモロ出しになった種付けの写真となっており、思わず「さすが馬産地」と唸ってしまいました。

行徳さんのご親戚は、静内で代々馬頭観音を創っている方で、ママさんとは古くからの付き合いという事もあり、おかげで数々のわがママも、快く受け止めて頂き、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

その店を後にし、2件目へは、カラオケ班との合流を反故にして、私を含めた4名で、道行く地元青年お薦めの「ヴィーナス」というスナックへ行きました。

その店には、若くて綺麗な女性が4~5名おり、さすがに地元青年の薦める店だけあると、鼻の下伸ばしつつ、回されたマイクで数曲歌っている内に、時間は瞬く間に流れて行きました。

帰りの宿へ向かうタクシーの中、「まだ飲み足りない。部屋で飲み直すぞ」との関野さんの号令の元、タクシーをUターンさせ、コンビニでビールやワイン、つまみなどを仕込み、その夜は2時過ぎまで関野さんのロータリー魂を、存分に充填させて頂きました。

(次週につづく)

例会プログラム【11月】

11月7日(水) ロータリー財団月間にちなんで(財団委員会担当)

11月14日(水) 来賓卓話「税を考える週間にちなみ」 留萌税務署 山本署長